

国宝 阿修羅展

並ぶのを覚悟して上野の東京国立博物館に向かった。平日の午後であったが、「約 50 分待ち」の表示を見ながら長い行列に加わった。炎天下の中であり、主催者も傘を用意するなどしたが、整然と行列がさばかれていた。並ぶのは苦手な

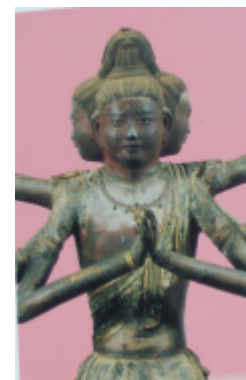
ほうだが、とにか
く暑いなか 50 分
余り我慢した。



国宝 阿修羅展
は、「興福寺創建
1300 年記念」と

して東京国立博物館と福岡の九州国立博物館で開催される。阿修羅像をはじめとする国

宝 八部衆像、
国宝 十大弟
子像が史上初
めて東京に勢
揃いとして注
目を集め、長



蛇の列ができ、連日満員続きとなった。

なんと言っても、お目当ては阿修羅像だ。阿修羅像だけが真ん中に据えられた大きな部屋は、熱気と興奮に包まれているようであった。なかなか列が進まずイライラしたが、四方八方からじっくりと鑑賞できた。暑い中 50 分も待った甲斐があった。6 日付朝日によると、「仏像ブーム最高潮」のようで、阿修羅展でも若い鑑賞者が目立った。

(2009 年 6 月 11 日 記)